

# Amagasaki Oda High School SSH Communication



令和元年 12月 24日 No. 6  
兵庫県立尼崎小田高等学校 SSH 推進委員会

## ★ 冬のSSH事業の行事



12月18日

### 特別講義「効果的なプレゼンテーションに向けて」

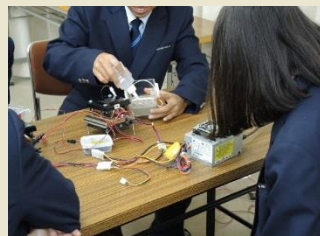
2月8日の口頭発表（小田高リサーチ）に向けて、プレゼンテーションの基本となる技術を網羅的に学んだ後、自分が作ったパワーポイント資料を使って実践練習をしました。スライドの量や構成、グラフや写真・文字のレイアウト、アニメーションの利用、好ましい発表のコツなど、SRの生徒たちにとって非常にためになるお話を聞くことができました。



12月19日

### 大阪府立大学 大学研修

サイエンスリサーチ科1年生の生徒が大阪府立大学で会沢教授から理系の進路についての基礎的な考え方を学びました。その後植物工場と図書館の見学をし、放射線（ $\alpha$ 線、 $\beta$ 線、 $\gamma$ 線、X線）の実習をしました。



12月21日

### 高大連携フォーラム in 京都大学・第4回生徒実行委員会

共同研究報告と各校の研究のアピールタイムを行った後、ポスターセッションを行い、京都大学生・大学院生からアドバイスをいただきました。その後昼食等交流会で京都大学についての話を聞き、キャンパスや博物館の見学をしました。生徒実行委員会では今年度の高校生サミットの振り返りをしました。



- 第39回近畿高等学校総合文化祭京都大会自然科学部門（11月16日、17日）に科学研究部生物班（テーマ：「トゲワレカラ亜種の遺伝的特性の解明」）が出場しました。
- 科学研究部化学班南極研究グループが国立極地研究所主催「第16回中高生南極北極科学コンテスト」において奨励賞を受賞し、国立極地研究所にてポスター発表をしました。  
(テーマ：「海氷の塩分濃度の測定は海面上昇の予測につながるのか？」)
- 令和元年度グリーンスクール表彰校（2回目）に指定されました。
- 甲南大学で行われた数学理科甲子園（12月21日）に選手、ボランティアとして16名の生徒が参加しました。
- 甲南大学で行われたリサーチフェスタ（12月22日）に13名の生徒が参加し、審査員特別賞、クリエイティブ賞を受賞しました。



本校ホームページにも、SSH事業の年間計画や詳細などを掲載しておりますので、ぜひご覧下さい。